

1 過去形

1.1 一般動詞

過去形の一般動詞の肯定文を作るときは、主語 + 動詞の過去形 +(目的語) にすれば良い。このとき、1人称単数～3人称複数の主語全て同じ動詞の過去形を使う。ただし、規則動詞 (動詞+ ed) と不規則動詞があるので、それを覚えなければならない。

過去形の一般動詞の否定文を作るときは、過去形の一般動詞の肯定文の動詞の前に をつけて、動詞を原形に戻せばよい。つまり、主語 + + 動詞の原形 +(目的語) にすれば良い。過去形の一般動詞の疑問文を作るときは、過去形の一般動詞の肯定文の主語の前に をつけて、動詞を原形に戻せばよい。つまり、 + 主語 + 動詞の原形 +(目的語) にすれば良い。

1. 私は、歩きました。
2. 私は、歩きませんでした。
3. あなたは、バスケットボールが好きでした。
4. あなたは、バスケットボールが好きではありませんでした。
5. あなたは、バスケットボールが好きでしたか。
6. 彼達は、サッカーをしました。
7. 彼達は、サッカーをしませんでした。
8. 彼達は、サッカーをしましたか。

9. 彼女は、公園に行きました。

10. 彼女は、公園に行きませんでした。

11. 彼女は、公園に行きましたか。

1.2 be 動詞

過去形の be 動詞の肯定文を作るときは、主語 + be 動詞の過去形にすれば良い。このとき、be 動詞の過去形は、主語が 1 人称単数のとき、be→was、1 人称複数、2 人称単数のとき、be→were、1 人称複数、3 人称単数のとき、be→was、3 人称複数、be→were とすれば良い。

過去形の be 動詞の否定文を作るときは、過去形の be 動詞の肯定文の動詞の後ろに をつけばよい。つまり、主語 + be 動詞の過去形 + + にすれば良い。過去形の be 動詞の疑問文を作るときは、過去形の be 動詞の肯定文の主語の前に もってければ良い。つまり、 + 主語にすれば良い。

1. 私は、あなたの友達でした。

2. 私は、あなたの友達ではありませんでした。

3. 私は、あなたの友達でしたか。

4. あなたは、暇でした。

5. あなたは、暇ではありませんでした。

6. あなたは、暇でしたか。

7. 彼は, 幸せでした.
8. 彼は, 幸せではありませんでした.
9. 彼は, 幸せでしたか.
10. 彼女達は, お腹が空いていました.
11. 彼女達は, お腹が空いていませんでした.
12. 彼女達は, お腹が空いていましたか.

1.3 練習問題

1. 彼は, 彼女の弟がすきでした.
2. 私は, 彼の弟を知りませんでした.
3. 彼女は, 私達の妹とバスケットボールをしましたか. はい, しました. いいえ, しませんでした.
4. 彼達は, 彼女達の本を読みませんでした.
5. 彼女達は, 私達のりんごを持っていました.

6. 彼と石橋は、英語を勉強しましたか. はい, しました. いいえ, ませんでした.
7. 私達は、テレビを見ました.
8. あなたは良いサッカー選手でしたか. はい, そうでした. いいえ, そうではありませんでした.
9. 私は、悲しかった.
10. 彼は、とても良い料理人ではありませんでした.
11. これは、一つのりんごでしたか. はいそうでした.
12. あれは、あなたの本でした.
13. それらは、彼女のものでした.
14. 彼女らは、とても良い友達でしたか. いいえ, 違いました.